

平成25年度 もも脳ネット 市民フォーラム 事業報告

川崎医科大学附属川崎病院

<http://www.kawasaki-m.ac.jp/kawasakihp/>

脳卒中科 岩永 健

平成26年2月20日
県南東部地域医療連携推進会議

平成25年度 もも脳ネットの取り組み

＜平成25年度内の主な事業＞

- (1)運用会議の開催（実務者会議、コアメンバー会議、ワーキンググループ会議）
- (2)岡山県備前県民局からの委託事業
 - ・「脳卒中予防市民フォーラム」の開催
 - ・「脳卒中予防啓発チラシ」の作成
 - ・「医療機関用情報冊子」の作成

平成25年度 もも脳ネットの取り組み

＜平成25年度内の主な事業＞

(1)運用会議の開催(実務者会議)

4回/年開催

前回開催 平成25年12月17日 (岡山医療センター)
計43施設116名参加

次回予定 平成26年3月26日 (岡山赤十字病院)

運用状況

1) 大腿骨頸部骨折パス(岡山赤十字病院:片岡Dr)

平成25年9月～平成25年11月末までのデータを集計

【急性期】

- ・ 在院日数は横ばい
- ・ 退院先は6割が連携先、3割が連携外、1割が施設と自宅
- ・ 最終退院先は自宅が60%強、施設が40%弱、病院が数%
- ・ 最終移動能力は55%が歩行可能、40%強が歩行器及び車いす

(平成25年12月17日)

運用状況

2) 脳卒中パス（川崎医科大学附属川崎病院： 岩永Dr）

急性期10病院、回復期22病院：合計32病院

- ・ 急性期及び慢性期において在院日数は短い傾向であった
- ・ 急性期病院ではパス利用率が高くなると平均在院日数が長くなりやすい
- ・ 回復期では多くの施設が3ヶ月程度の在院日数となっている

（平成24年12月17日）

平成25年度 もも脳ネットの取り組み

＜平成25年度内の主な事業＞

- (1)運用会議の開催（実務者会議、コアメンバー会議、ワーキンググループ会議）
- (2)岡山県備前県民局からの委託事業
 - ・「脳卒中予防市民フォーラム」の開催
 - ・「脳卒中予防啓発チラシ」の作成
 - ・「医療機関用情報冊子」の作成

司会 / 岡山市立市民病院 脳神経外科副部長 桐山 英樹 先生

挨拶 / 岡山大学 脳神経内科学教授 阿部 康二 先生

岡山県備前保健所長 小寺 良成 先生

第一部

1) 講演『脳卒中で寝たきりにならないために』

座長 / 岡山労災病院 副院長・脳神経外科部長 片山 伸二 先生

講師 / 岡山大学病院 神経内科 講師 山下 徹 先生

2) 講演『回復期リハビリテーション病棟の役割』

座長 / 岡山赤十字病院

リハビリテーション科 副部長 片岡 昌樹 先生

講師 / 岡山リハビリテーション病院

リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子 先生

リフレッシュ体操

担当 / 川崎医科大学附属川崎病院

リハビリテーションセンター



第二部

3) 創作企画『あなたにも起こり得る大腿骨頸部骨折!』

～ みんなの繋がりが安心を生む ～

総合司会 / 岡山リハビリテーション病院

リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子 先生

原作 / 岡山旭東病院

リハビリテーション課 課長 野間 博光 先生

閉会挨拶 / 川崎医科大学附属川崎病院 院長 角田 司 先生

平成25年度 もも脳ネット市民フォーラム プログラム内容

3階イベントホール 特設会場

情報コーナー 12:00～14:00

病後の支援において、各専門家がお役に立てる情報を提供いたします。関連資料の配布、パネル展示、ワンポイントアドバイスなどをさせていただきます。

1) 「在宅支援」

担当 / ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー

2) 「高次脳機能障害」

担当 / 高次脳機能障害支援コーディネーター

3) 「訪問歯科」

担当 / 歯科医師・歯科衛生士

よろず相談コーナー 13:30～15:30

講演会場でできなかった質疑への回答や、急性期・回復期・在宅等に関する質問にお答えいたします。

担当 / 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、
リハビリテーション療法士、ケアマネジャー

2) 講演『回復期リハビリテーション病棟の役割』

座長 / 岡山赤十字病院

リハビリテーション科 副部長 片岡 昌樹 先生

講師 / 岡山リハビリテーション病院

リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子 先生

リフレッシュ体操

担当 / 川崎医科大学附属川崎病院

リハビリテーションセンター



第二部

3) 創作企画『あなたにも起こり得る大腿骨頸部骨折!』

～ みんなの繋がりが安心を生む ～

総合司会 / 岡山リハビリテーション病院

リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子 先生

原作 / 岡山旭東病院

リハビリテーション課 課長 野間 博光 先生

閉会挨拶 / 川崎医科大学附属川崎病院 院長 角田 司 先生

入場無料

定員1000名

事前申込不要
お気軽に
ご参加ください。

担当 / 高次脳機能障害支援コーディネーター

3) 「訪問歯科」

担当 / 歯科医師・歯科衛生士

よろず相談コーナー 13:30～15:30

講演会場でできなかった質疑への回答や、急性期・回復期・在宅等に関する質問にお答えいたします。

担当 / 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、
リハビリテーション療法士、ケアマネジャー

主催: 岡山県備前保健所・もも脳ネット

(幹事: 川崎医科大学附属川崎病院)

後援: 岡山市、玉野市、備前市、瀬戸内市、赤磐市、和気町、吉備中央町
岡山県医師会、岡山市医師会、西大寺医師会、玉野市医師会、都窪医師会
御津医師会、赤磐医師会、和気医師会、邑久医師会、北児島医師会
岡山市内歯科医師会連合会、岡山県病院協会、岡山県看護協会
岡山県栄養士会、岡山県理学療法士会、岡山県作業療法士会
岡山県言語聴覚士会、岡山県歯科衛生士会、岡山県介護支援専門員協会
山陽新聞社、朝日新聞岡山総局、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局
NHK岡山放送局、RSK山陽放送、RNC西日本放送、KSB瀬戸内海放送
OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、oniビジョン、FM岡山

寝たきりのうち 3人に1人が
脳卒中・骨折によるものです。

知ってましたか？

創作企画 『あなたにも起こり得る大腿骨頸部骨折！』

総合司会(岡山リハビリテーション病院 森田能子先生)

ドラマ本体

【ステージⅠ】 導入・発症



【ステージⅡ】 急性期病院(手術)



(舞台: 岡山旭東病院)

【ステージⅢ】 回復期病院(リハ)



(舞台: 岡山リハビリテーション病院)

【ステージⅣ】 在宅復帰・総括

ワンポイントレクチャー

- ① 受傷機転
- ② 救急場面
- ③ 大腿骨頸部骨折
- ④ 岡山もも脳ネット
- ⑤ 急性期リハビリ
- ⑥ 急性期病院退院支援
- ⑦ 退院前家屋訪問
- ⑧ 回復期リハビリ
- ⑨ 回復期在宅支援

制作スタッフ

企画統括者	岡山旭東病院	リハビリテーション課課長（OT）	野間博光
脚本 演出 編集	（同上）		野間博光
	岡山リハビリテーション病院	リハビリテーション部副部長（PT）	荒尾 賢
	岡山旭東病院	リハビリテーション課主任（PT）	片岡孝史
アド バイザー	川崎病院	脳卒中科医長	岩永 健
	岡山労災病院	副院長・脳神経外科部長・脳卒中センター長	片山伸二
	岡山市立市民病院	脳外科副部長・脳疾患センター副センター長	桐山秀樹
	岡山赤十字病院	リハビリテーション科副部長	片岡昌樹
	こうなんクリニック	院長	西崎 進
	岡山光南病院	医療相談室	斎藤香織
総合司会	岡山リハビリテーション病院	リハビリテーション診療科 診療部長	森田能子
ナレーター	岡山旭東病院	事務部 医療秘書課 地域連携室	細谷佐也加
		事務部 医療秘書課 地域連携室	白澤知世

ドラマ 出演者

患者役	岡山旭東病院	看護部外来課長		高橋麻里
患者 主人役		地域サポート室室長		河村武人
急性期病院 スタッフ		Dr		平野浩司
		Ns		松田麻里
		PT		清本 悟
		OT		小林 恵
		MSW		仲井達哉
回復期病院 & 地域関連 スタッフ	岡山 リハビリテーション病院	Dr		森田能子
		Ns		井上美智子
		PT		荒尾 賢
		OT		乙倉智恵
		MSW		山崎規子
		薬剤師	〔 地域 スタッフ 役 〕	雫 禎弘
		PT		山崎奈々
		OT		栗原 真
	ハッピーライフ操風	CM		石崎敏男

ワンポイントレクチャー 協力者

①受傷機転	川崎病院	Ns	森 亜紀
②救急搬送時の様子	岡山市立市民病院	Dr	茂山幸雄
③大腿骨頸部骨折	岡山旭東病院	Dr	平野浩司
④岡山もも脳ネット	川崎病院	Dr	岩永 健
⑤急性期リハビリ	岡山旭東病院	PT	片岡孝史
⑥急性期病院退院支援	岡山赤十字病院	MSW	橘 大輔
⑦退院前家屋訪問	岡山協立病院	PT	吉村政則
⑧回復期リハビリ	岡山中央奉還町病院	OT	宮島和則
⑨在宅支援	訪問看護St.たんぽぽ	Ns	谷部明子

脳卒中・骨折で

もも脳ネット 市民フォーラム

寝たきりにならないように

予防からリハビリ、在宅ケアまで丸ごと学ぼう

日時
 平成26年1月18日(土) 13:00~15:30 (12:00より受付)

場所
 岡山シンフォニーホール 岡山市北区表町1丁目5-1

お問合せ先
 川崎医科大学附属川崎病院
 患者診療支援センター
 電話:086-223-2111(代表)

岡山駅から徒歩15分。路面電車東山行き「城下」下車すぐ。
 駐車場はございません。お車の場合、最寄りの駐車場をご利用ください。

4階大ホール 講演会場 13:00~15:30

3階イベントホール 特設会場

司会 / 岡山市立市民病院 脳神経外科副部長 相山 英樹 先生
 挨拶 / 岡山大学 脳神経内科学教授 阿部 康二 先生
 岡山県備前保健所長 小寺 良成 先生

第一部

1) 講演『脳卒中で寝たきりにならないために』
 座長 / 岡山労災病院 副院長・脳神経外科部長 片山 伸二 先生
 講師 / 岡山大学病院 神経内科 講師 山下 徹 先生

2) 講演『回復期リハビリテーション病棟の役割』
 座長 / 岡山赤十字病院
 リハビリテーション科 副部長 片岡 昌樹 先生
 講師 / 岡山リハビリテーション病院
 リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子 先生

リフレッシュ体操

担当 / 川崎医科大学附属川崎病院
 リハビリテーションセンター

第二部

3) 創作企画『あなたにも起こり得る大脳骨頂部骨折!』
 ~ みんなの繋がりが安心を生む ~
 総合司会 / 岡山リハビリテーション病院
 リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子 先生
 原作 / 岡山旭東病院
 リハビリテーション課 課長 野間 博光 先生

閉会挨拶 / 川崎医科大学附属川崎病院 院長 角田 司 先生

情報コーナー 12:00~14:00

病後の支援において、各専門家が役立てる情報を提供いたします。関連資料の配布、パネル展示、ワンポイントアドバイスなどをさせていただきます。

- 1) 「在宅支援」
担当 / ケアマネジャー、医療ソーシャルワーカー
- 2) 「高次脳機能障害」
担当 / 高次脳機能障害支援コーディネーター
- 3) 「訪問歯科」
担当 / 歯科医師・歯科衛生士

よろず相談コーナー 13:30~15:30

講演会場でできなかった質疑への回答や、急性期・回復期・在宅等に関する質問にお答えいたします。

担当 / 医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、
 リハビリテーション療法士、ケアマネジャー

主催:岡山県備前保健所・もも脳ネット
 (協賛:川崎医科大学附属川崎病院)

後援:岡山市、玉野市、倉敷市、瀬戸内市、赤松市、和気町、吉備中央町
 岡山県議会、岡山市議会、西大寺教会、玉野市医師会、倉敷医師会
 赤松医師会、赤松教会、和気教会、久久保教会、北光教会
 岡山市内療科医科会連合会、岡山県病院協会、岡山県看護協会
 岡山県栄養士会、岡山県理学療法士会、岡山県作業療法士会
 岡山県看護士会、岡山県薬剤師会、岡山県介護支援専門員協会
 山陽新聞社、朝日新聞岡山地区、毎日新聞岡山支局、読売新聞岡山支局
 NHK岡山放送局、NHK岡山放送、NHK西日本放送、KBS瀬戸内放送
 OHK岡山放送、TBSテレビとらとら、mビジョン、FM岡山

入場無料

定員1000名

事前申込不要
 お気軽に
 ご参加ください。

寝たきりのうち 3人に1人が
 脳卒中・骨折によるものです。
知ってましたか?

山陽新聞折込広告



平成26年1月9日(木)

折込広告範囲 県南東部



合計175,550部

平成26年1月14日(火)



**山陽新聞広告掲載
(岡山県内)**

もも脳ネット 市民フォーラム

脳卒中・骨折で 寝たきりにならんように ～予防からリハビリ、在宅ケアまで丸ごと学ぼう～

参加
無料

事前申込
不要

定員
1000名

日時

平成26年1月18日(土)
13:00～15:30(受付開始12:00)

場所

岡山シンフォニーホール 岡山市北区表町1-5-1
岡山駅から徒歩15分。路面電車東山行き「城下」下車すぐ。
駐車場はございません。お車の場合、最寄りの駐車場をご利用ください。

4階大ホール 講演会場

13:00～15:30

司会 / 岡山市立市民病院 脳神経外科副部長 桐山英樹先生
挨拶 / 岡山大学 脳神経内科学教授 阿部康二先生
岡山県備前保健所長 小寺良成先生

1) 講演『脳卒中で寝たきりにならないために』

座長 / 岡山労災病院 副院長・脳神経外科部長 片山 伸二先生
講師 / 岡山大学病院 神経内科 講師 山下 徹先生

2) 講演『回復期リハビリテーション病棟の役割』

座長 / 岡山赤十字病院 リハビリテーション科 副部長 片岡 昌樹先生
講師 / 岡山リハビリテーション病院 リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子先生

休憩

リフレッシュ体操

担当 / 川崎医科大学附属川崎病院 リハビリテーションセンター

3) 創作企画『あなたにも起こり得る 大腿骨頸部骨折!』 ～みんなの繋がりが安心を生む～

司会 / 岡山リハビリテーション病院
リハビリテーション診療科 診療部長 森田 能子先生
原作 / 岡山旭東病院 リハビリテーション課 課長 野間 博光先生

閉会挨拶 / 川崎医科大学附属川崎病院 院長 角田司先生

3階イベントホール 特設会場

情報コーナー

12:00～14:00

病後の支援において、各専門家が
お役に立てる情報を提供いたし
ます。関連資料の配布、パネ
ル展示、ワンポイントアドバイス
などをさせていただきます。

- 1)「在宅支援」
- 2)「高次脳機能障害」
- 3)「訪問歯科」

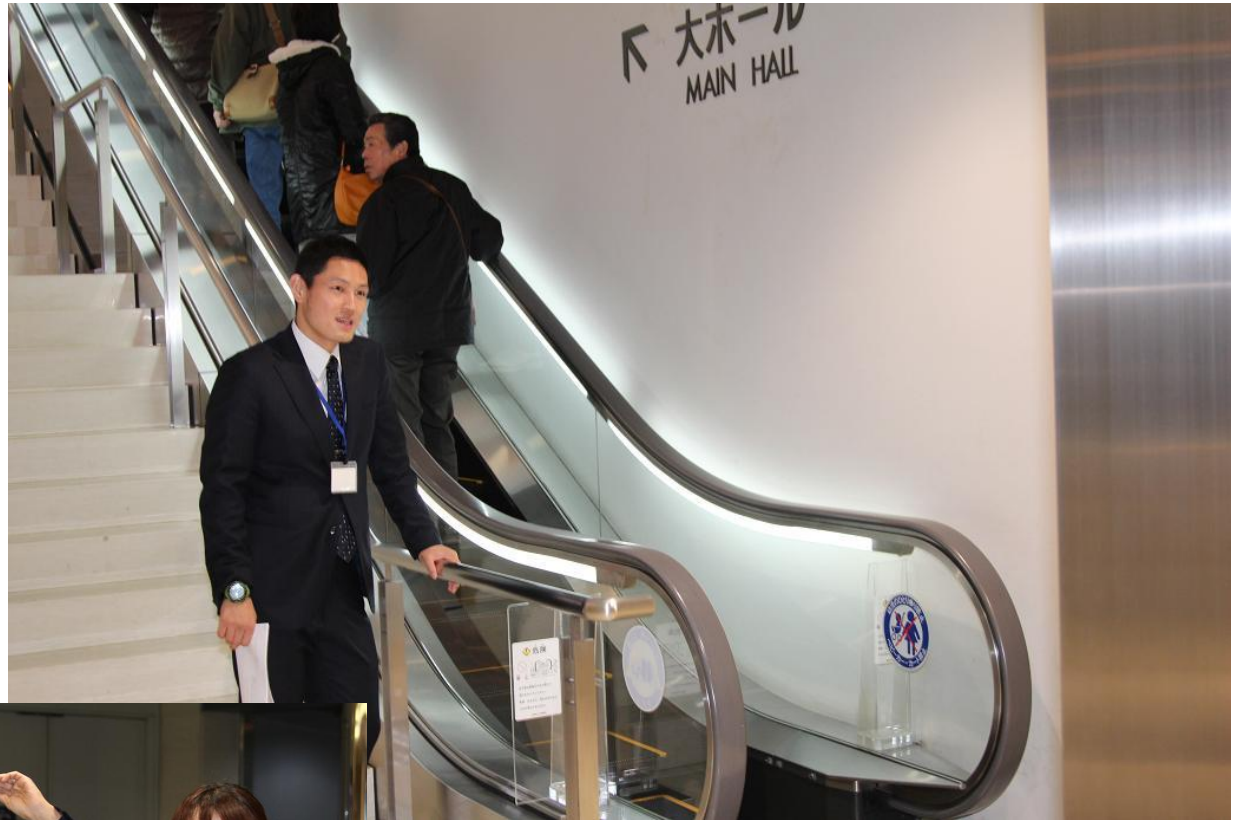
よろず相談コーナー

13:30～15:30

講演会場でできなかった質疑へ
の回答や、急性期・回復期・在宅
等に関する質問にお答えします。

主催：岡山県備前保健所・もも脳ネット 【お問い合わせ】 川崎医科大学附属川崎病院 患者診療支援センター TEL:086-225-2111(代表)

12:00 受付開始



在宅支援ブース



12:00～ 特設会場ブース 開場

高次脳機能障害ブース



訪問歯科ブース



13:00 講演会場開会



岡山大学
脳神経内科学
阿部康二 教授
開会挨拶

岡山県備前保健所長
小寺良成 先生
開会挨拶



『脳卒中で寝たきりにならないために』



講師

岡山大学神経内科
山下 徹 先生

座長

岡山労災病院

片山 伸二 先生



『回復期リハビリテーション病棟の役割』



講師

岡山リハビリテーション病院
リハビリテーション診療科
森田 能子

座長

岡山赤十字病院
片岡 昌樹 先生



休憩:リフレッシュ体操

川崎医科大学附属川崎病院
リハビリテーションセンター



閉会挨拶
川崎医科大学附属川崎病院
院長 角田 司 先生



市民フォーラム 関係者一同



来場者数

受付手渡プログラム用チラシでのカウント

$$\begin{array}{rclcl} \text{チラシ準備枚数} & & \text{チラシ残数} & & \text{来場者数} \\ 1,000\text{枚} & - & 388\text{枚} & = & 612\text{人} \end{array}$$

客席の様子



来場者アンケート結果

配布アンケート数	539枚
回収アンケート数	376枚

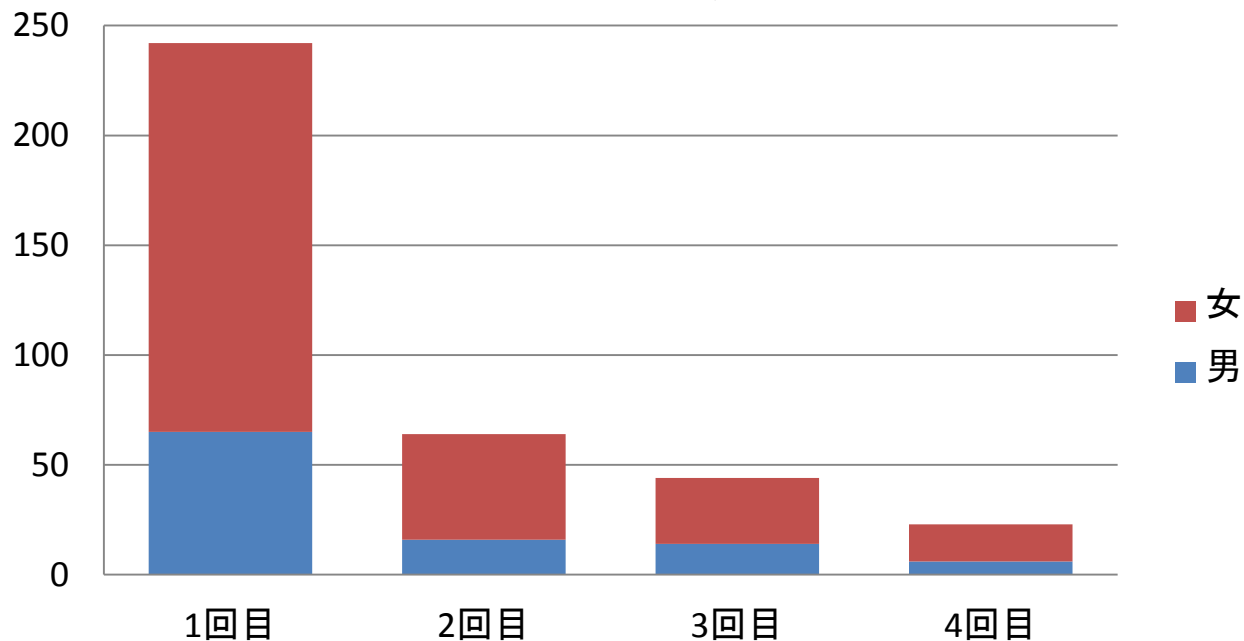
⇒回収率 69.8%

来場者アンケート結果

アンケート回答者数と性別

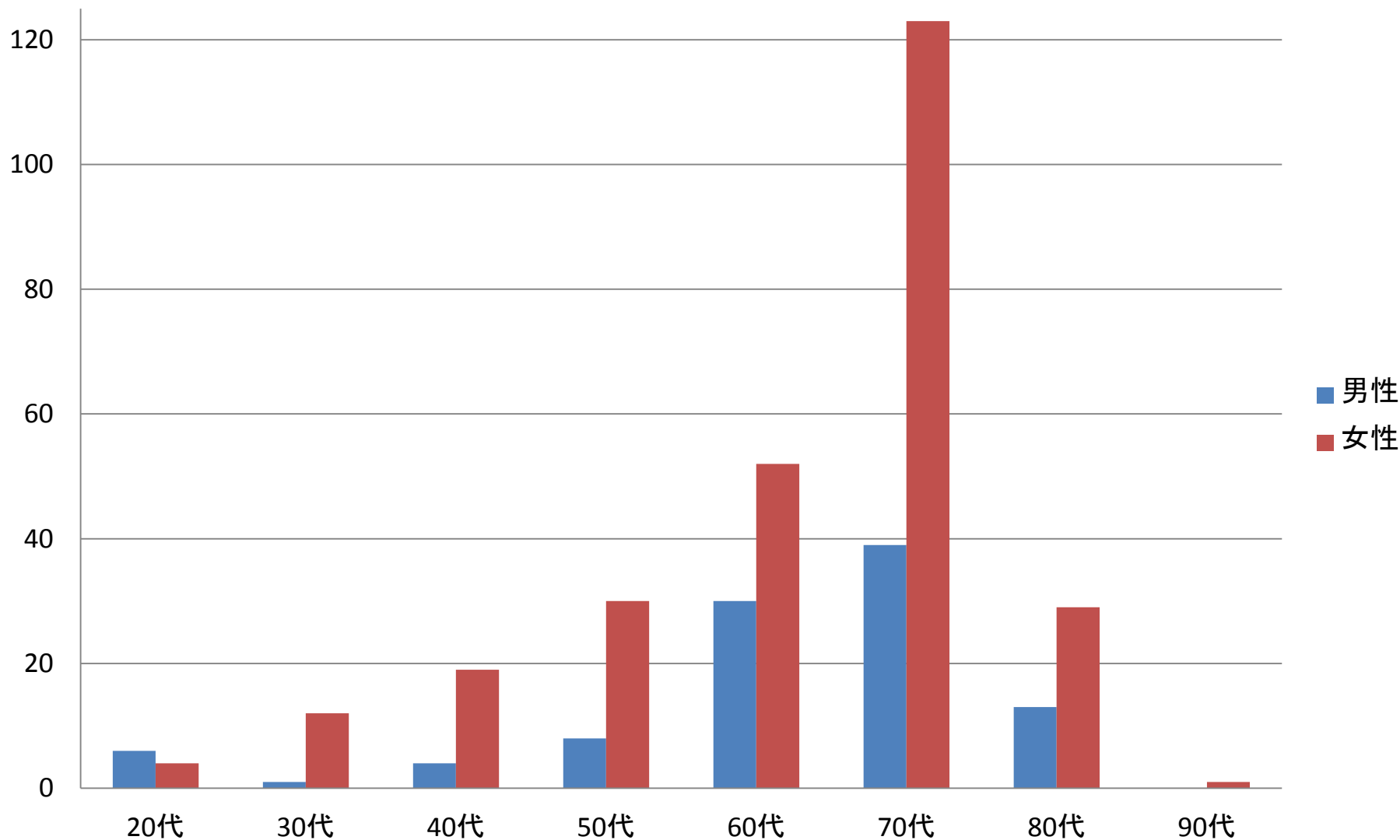
性別	男性	女性	合計
人数	101	275	376
割合	26.9	73.1	-

市民フォーラムへの参加回数



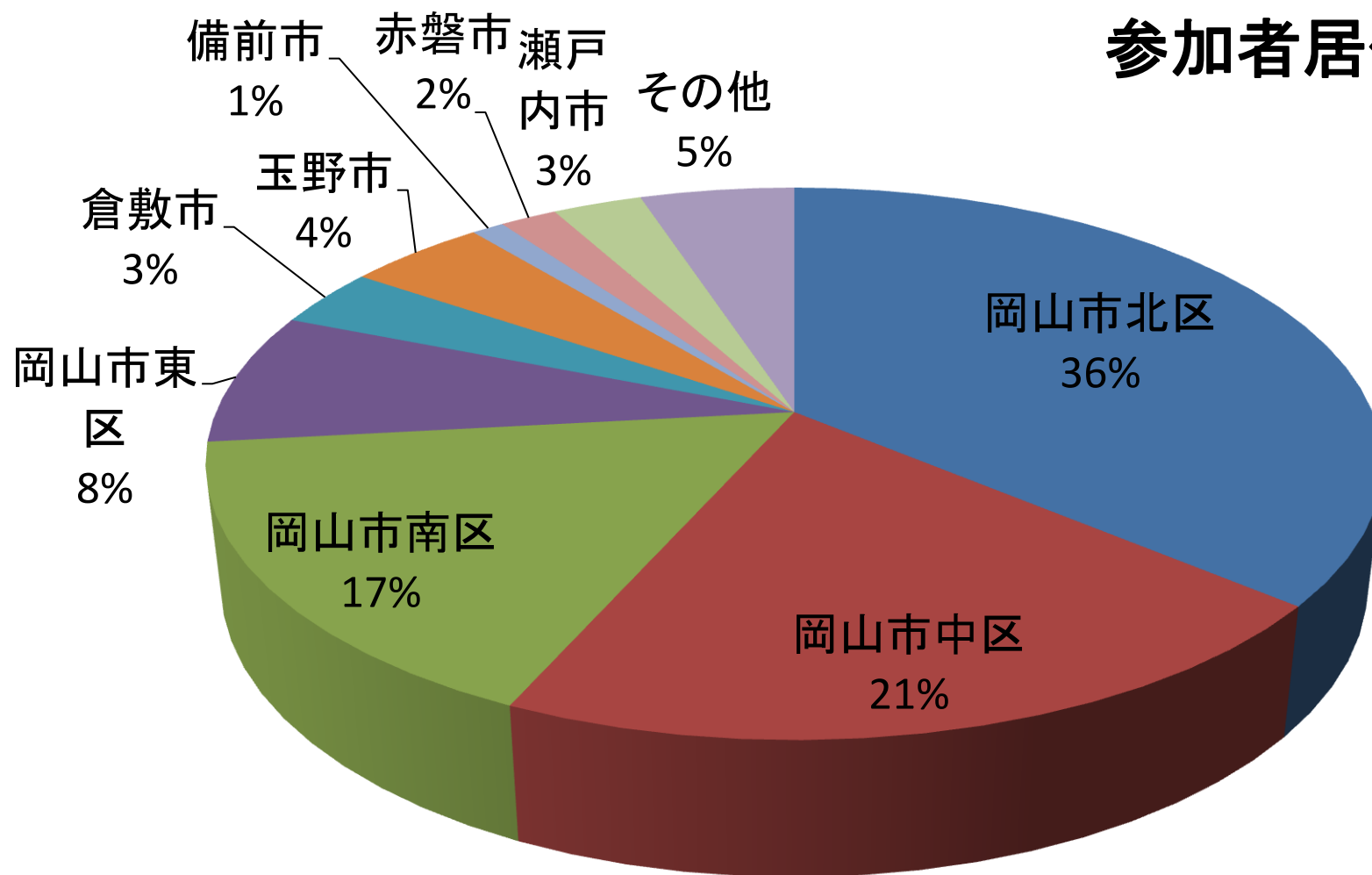
来場者アンケート結果

参加者の年代



来場者アンケート結果

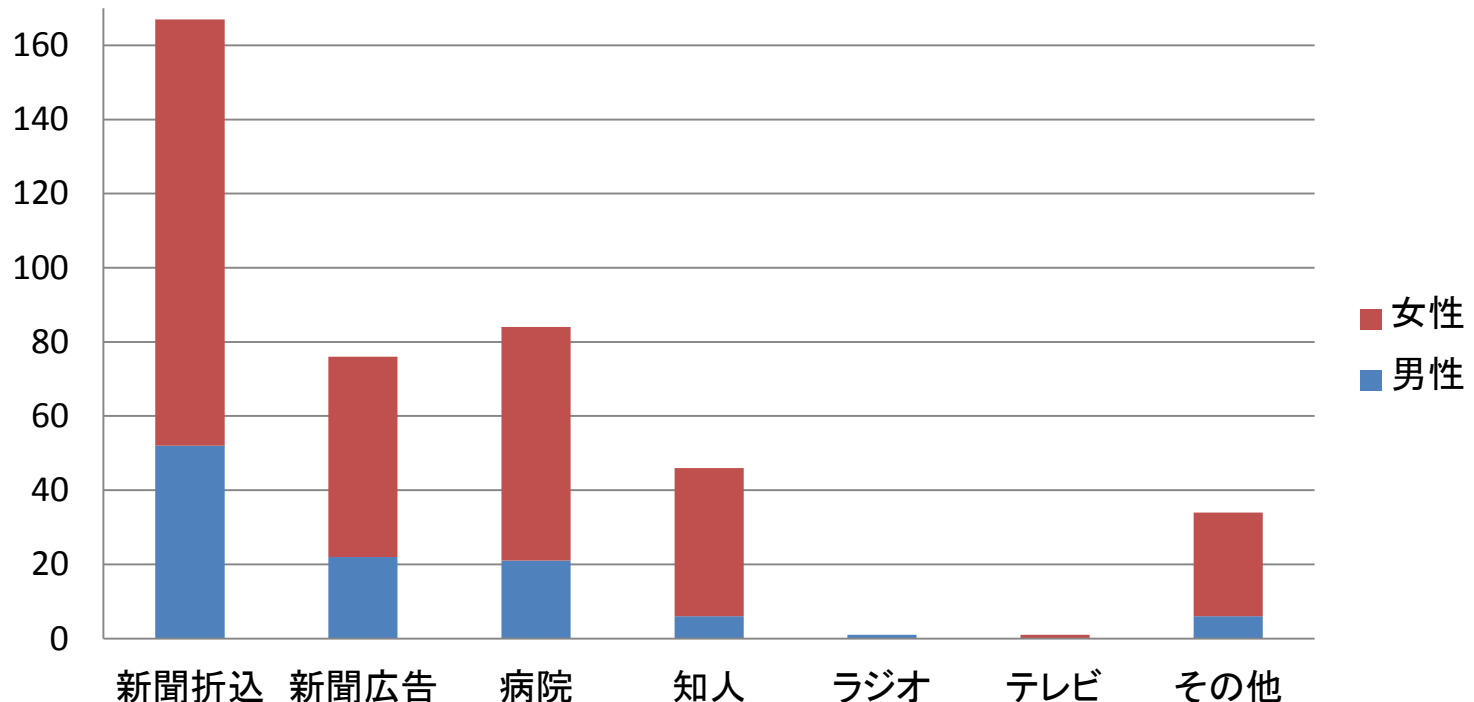
参加者居住地



来場者アンケート結果

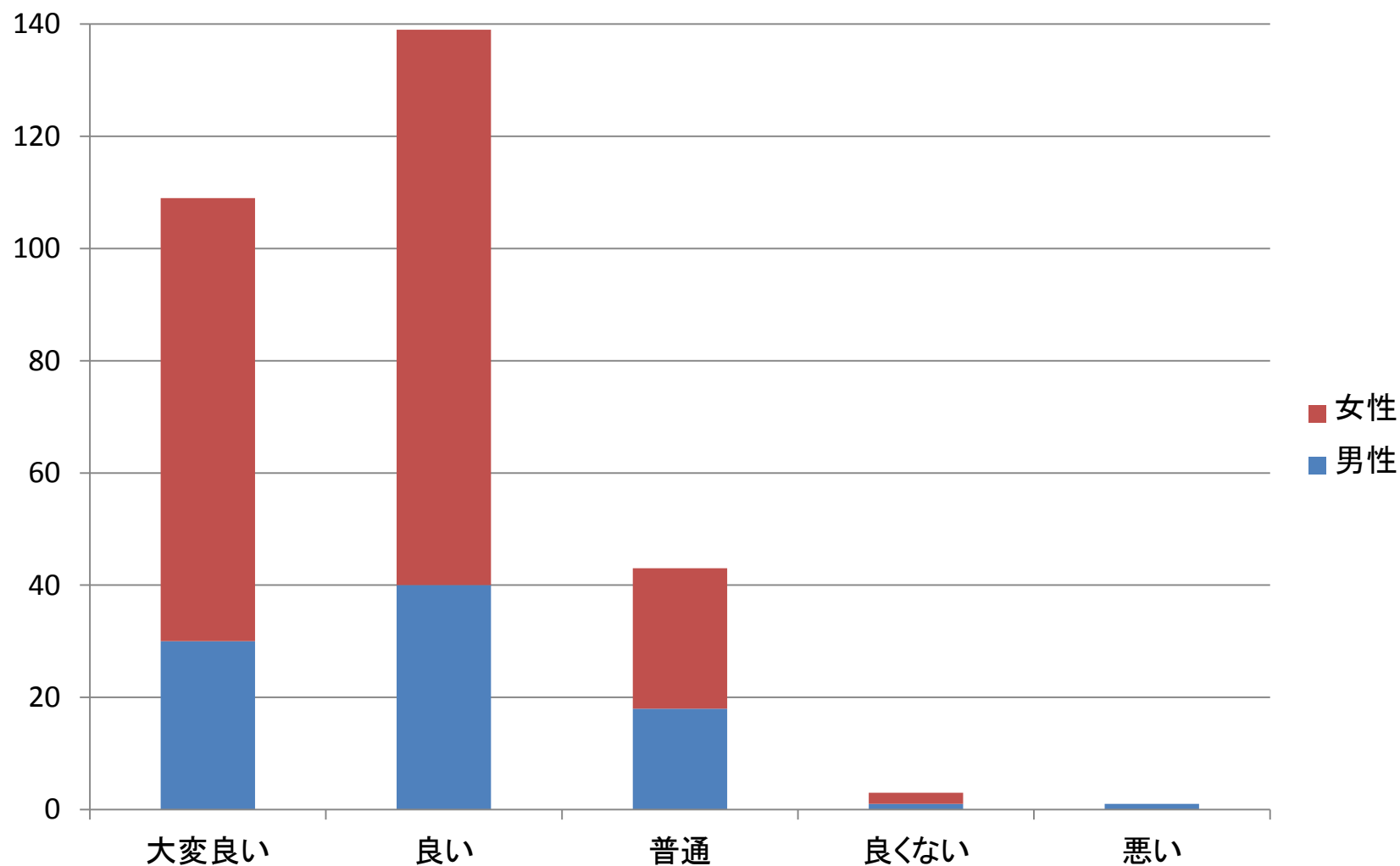
今回の市民フォーラムを知ったところ

性別	新聞折込	新聞広告	病院	知人	ラジオ	テレビ	その他
男性	52	22	21	6	1	0	6
女性	115	54	63	40	0	1	28
計	167	76	84	46	1	1	34
割合	40.8%	18.6%	20.5%	11.2%	0.2%	0.2%	8.3%



来場者アンケート結果

市民フォーラム全体の感想



来場者アンケート結果

プログラムの感想		性別	大変良い	良い	普通	良くない	悪い
場 合 演 講	講演1	男性	30	50	15	2	1
		女性	98	115	33	3	0
	講演2	男性	26	38	23	8	3
		女性	71	105	52	11	1
	体操	男性	35	39	18	1	1
		女性	110	92	22	3	0
	創作企画	男性	34	30	20	1	1
		女性	86	90	28	4	0
場 合 特 設	在宅支援	男性	7	11	17	1	1
		女性	23	26	26	4	0
	訪問歯科	男性	11	10	20	0	1
		女性	20	32	27	3	0
	高次脳機能障害	男性	9	13	15	1	1
		女性	17	22	27	3	0
	よろず相談	男性	8	7	17	0	1
		女性	12	19	24	0	0

来場者からのコメント

<記入コメント>

	コメント有無		内容内訳		
	有	なし	意見・ 要望	感想	その他
合計	63	265	63	39	9
男性	24	77	16	7	1
女性	87	188	50	31	6

来場者からのコメント(講演会場)

ご意見・ご要望

解説をもう少しゆっくりお話くださればもっと良く分かると思いました。

講演のレジメをいただきたかった(持ち帰って家族に説明したかった)。

プレゼンの画面が暗く文字が小さく読みづらい。

理解しやすかったが、スライドをもう少しゆっくり変えてほしかった。
まとめることが間に合わなかった。

来場者からのコメント(講演会場)

ご感想

参加出来て大変良かったです。明日は我が身で心配ですが日々医療の現場も市民のために変化しているのに驚きました。

入院から退院、リハ迄全てが相談でき、安心できることがよくわかりました。

人間らしく地域で暮らせるように連携ネットワークができていることをたのしく思います。

リフレッシュ体操、若いってすばらしい、元気をもらいました。

来場者からのコメント(特設会場)

ご意見・ご要望

3階ブースも見たり相談したいけれども講演を聞くと行けない。

イベントコーナーの時間をゆっくりとってほしい。

パンフレットが欲しかったが、なくなっていた。

住宅改修、福祉用具の具体的な例示をみてみたい。

スタッフアンケート結果1

＜特設会場について＞

- 100名分のパンフレットを用意したが足りなかった
ので口頭でお口の体操について説明した。
- お口の体操に興味を持たれた方が多かった。
それに応えるもの(実演等)を用意すれば良かった。
- 開場直後に多くの来場者が来られたので十分な
対応ができたか不安でした。

スタッフアンケート結果2

＜よろず相談コーナーについて＞

- パンフレットがあった方がよかった。
- スタッフの職種が分かるようにした方が良いのでは。
- 講演をしていない時間に相談に来られる方が多かった。
- オープンな空間の方が相談しやすいように感じた。
- 開演前に少し相談を受けれたらと思いました。

スタッフアンケート結果3

＜その他の意見＞

- ミーティング時の説明がもっと詳しくても良かったかもしれない。
- エレベーターの使用を車いすに限定したことで通路の誘導に少し迷った。
- 認知症にならないための講演をしてほしい。
- 良い季節にしてほしい、寒い。
- 創作企画の医師のICの言葉が専門用語が多かった。
- 裏にもポスターやお知らせがほしい。市民が迷っていた。
- 大ホールの席の埋まり方にバラツキがあった。
左右上手に連携を取って誘導できれば良かった。
- 多職種交流時間があるとよい。

ご協力ありがとうございました。スタッフ一同。

もも脳ネット 市民フォーラム

『脳卒中・骨折で寝たきりにならないように』

主催：岡山県備前保健所・もも脳ネット（幹事：川崎医科大学附属川崎病院）

